第 14 号
2009 年 9 月吉日

日本福祉大学付属高等学校同窓会会報
たちばな

会長挨拶

同窓会会長　丹羽　典彦

同窓生の皆様におかれましては、各界・各地でご活躍のこととお喜び申し上げますとともに、本会活動にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

ところで、私どもの母校は、昭和 33 年、愛知県内の私立高校として、いち早く男女共学の普通高校として誕生し、学校名や校舎の位置の変遷もありましたが、この間 卒業生(会員)は 12,500 名余に達しております。

こうした中で、私ども同窓会は、会員相互の親睦と母校の発展に寄与するため、各卒業年度毎に選任された幹事さんを中心として各種事業の展開に当たらせていただいております。

特に、昨年 10 月には、母校創立 50 周年に当たり、美浜キャンパスで 50 周年記念大同窓会を開催し、多数の卒業生と恩師の方々にご参加いただきました。また、本会の財政基盤の強化を図るため会員会費制（一人年額 1,000 円）を導入しております。ぜひ参加ご協力くださいますようお願いします。詳しくは本号や同封振込み用紙をご参照ください。

日常的な同窓会活動はホームページでもご紹介致しておりますのでご覧くださいますようお願いいたします。

最後に、母校が本年度から創設された「入学検定料免除制度（推薦入試受験）」に、同窓会も推薦者の一翼を担うことになりました。ぜひご活用ください

今後とも、本会事業推進にご協力とご参加を下さいますようお願いします。

2009年度の主な事業のお知らせ、同期会・クラス会案内

ゆりのき祭（母校文化祭）のお知らせ

開催日時　2009 年 9 月 27 日(日)
　　午前 10 時～午後 3 時
会　　場　日本福祉大学付属高校内

・模擬店（ぜんざい）、同窓会活動紹介、交流　など
・同窓生皆様のご参加をお待ちしております。
・前日の準備のご協力も、お願い致します。

同期会案内　G／H合同クラス会

1974 年度卒業（第 15 回生）幹事　古澤

開催日　2009 年 9 月 5 日(土)
会　場　酒と肴　月　栄店

同　期　会　案　内

1983 年度卒業（第 24 回生）幹事　日比、藤村、橋本

開催日　2009 年 9 月 12 日(土)
会　場　食祭家　もっと（金山）

同　期　会　案　内

2001 年度卒業（第 42 回生）幹事　江ノ上、武田、廣瀬

開催日　2010 年 2 月
会　場　後日連絡します。

同　期　会　案　内

2005 年度卒業（第 46 回生）幹事　北浦

開催日　2010 年 1 月
会　場　後日連絡します。

同窓会活動報告

【2008年度　事業活動報告】

1. 会務の運営強化
2. 委員会活動強化推進
3. 会員会費制導入5カ年計画（2年目）の推進
4. 母校創設50周年記念事業の実施
5. 会員・幹事等交流事業の実施
6. ホームページを中心とする広報活動の実施
7. 在校生との交流・支援事業の実施
8. 母校並びに関係支援団体等との連携強化

大同窓会報告　2008年10月18日（土）

内容

日本福祉大学付属高等学校同窓会50周年記念大同窓会が現在母校の在る美浜の地にて総勢200名の参加で開催されました。当日は、日本福祉大学から加藤副学長（現学長）をはじめPTA・後援会の役員の方々また、歴代校長先生に来賓としてご参加いただき、本校同窓会の更なる飛躍に声援を頂きましたことを、まず、ご報告申しあげます。

式典の冒頭は、在校生の和太鼓部「楽鼓」の演奏でにぎやかに幕開けし、同窓会幹事が手作りの50年間の想い出のアルバムを映写いたしました。

懇親会では、恩師の席に、卒業生が歩み寄り、それぞれに、先生と生徒と言う関係だけでなく、同じ釜の飯を分けた仲間の様に、時の流れを感じつつ、懐かしい話に夢中になり、食べものもそっちのけで、楽しい時間が過ぎました。付属高校の変わらぬ暖かさと先生のありがたさを感じる一日となりました。最後になりましたが、この大同窓会を前年から企画し、当日の運営を行っていただいた幹事の皆さん、また、当日手伝ってくれた皆さんに心から感謝いたします、どうもありがとうございました。

ゆりのき祭　2008年10月5日（日）

内容

毎年、恒例となりました高校文化祭での同窓会ブース。例年同様、ぜんざいを振る舞いながら、同窓会活動の紹介展示を行いました。

ぜんざいを中心に、きなこやしょうゆ餅を約330食分、振舞いました。

開始早々から、長蛇の列ができる人気で、最高齢83歳の方をはじめ、たくさんの在校生や地域のお客さんでいっぱいになり、午後2時前には、あっという間の完売となりました。（お疲れ様でした。）

次回も、同窓会の活動紹介や会員の交流の機会として、文化祭に参加し、盛り上げていきたいと思います。（気軽に参加して下さいね。）

交流企画委員会

三団体合同文化事業　2009年5月16日（土）

内容

毎年春に母校の発展と各団体の会員の教養を深める事業として、付属高校後援会・PTAと同窓会の三団体合同企画を開催しています。今年度は5月16日（土）に日本福祉大学学長の加藤幸雄先生による「みんなが知らない犯罪・非行」として教育講演を行いました。裁判員制度や少年犯罪・非行など身近なテーマの内容に参加者も真剣な面持ちで話を聞いていました。また、加藤先生には昨年度、本会の創立50周年記念大同窓会にもお忙しい中、来賓としてお越しいただきお世話になっています。

同窓生の皆さん　会費（一人 年1,000円）の納入にご協力ください

1.【会員会費増強5カ年計画】の策定について

本会の自立的運営基盤、とりわけ会報の安定的発行財源を確保するとともに、母校のサークル活動支援や特別奨学金制度の拡充をめざして、会則に定める会員の【年会費】制を具体化するため、2007年度を初年度とする5か年計画を定める。

1　会費の額は、1人年1,000円とする。
2　会費の納入方法は、原則として郵便口座振り替えとする。但し、振り込み手数料は本会負担とする。なお、5か年分の一括の納入を推奨する（口座番号　00810-8-169025　　加入者名　日本福祉大学付属高等学校同窓会）
3　この計画を推進するには、すべての常任幹事・幹事一人ひとりの同窓会活動への使命感なしには実現できないものである。
4　5ヵ年の会員会費増強計画の内容
（1）5年後の会員総数は13,000名と想定され、期間内にその10％（1,300名）の会員会費納入を目指すものとする。
（2）期間中の各年度において、会報やホームページ、あるいは、同期会等の開催時に広報・普及を図るものとする。
（3）各年度の目標と達成課題
1）2007年度（計画の初年度）は、300名とし、常任幹事一人当たり5名、幹事一人当たり2名の確保に努めるものとする。なお、2年次以降も同等の取り組みを強化していくこととする。
2）2008年度（第2年次）は、母校創立50周年を記念して大全卒業会を企画（300名規模を予定）し、実行委員を中心に参加者を含めて600名を確保する。
3）第3年次から最終年次は、それぞれ800名、1,000名、1,300名を目標とする。
4）進捗状況等により3年次に計画の見直しをする。
（4）この計画を担保するため、各年度、会員交流事業を企画するとともに、本年度から実施する【同期会等開催助成事業】の普及に努めるとともに一層の強化を図っていくこととする。
（5）この計画の推進にあたり、高校、現職教職員及び退職恩師等広く関係者の理解と協力を要請する必要がある。

会計報告

【2008年度同窓会決算報告】

《収入の部》

項　目	2008年度予算額	2008年度決算額	備　考
前年度繰入金	3,013,111	3,013,111	普通預金＋定期預金
入会金収入	800,000	790,000	158名（2008年度卒業生）
会費収入	600,000	194,140	198名（3/31入金分まで）
大同窓会会費	1,350,000	640,850	懇親会費、記念品販売、写真代、その他
利息収入	500	3,892	銀行利息（普通預金、定期預金）
雑収入	0	4,529	寄付
合　計	5,763,611	4,646,522	

《支出の部》

項　目	2008年度予算額	2008年度決算額	備　考
事務費	120,000	5,920	＊業務費
消耗品費	50,000	3,990	プリンタ用紙、封筒・CD-R
印刷費	50,000	0	
通信費	10,000	1,090	郵送料
雑費	10,000	840	残高証明書手数料、両替手数料
会議費	390,000	100,372	＊会議運営費（通信費、会議費、交通費）
幹事会	120,000	22,778	1回
常任幹事会	120,000	41,798	5回
委員会	150,000	35,796	6回
事業費	3,130,000	2,079,215	＊各事業運営費
文化講演会	150,000	119,497	三団体合同文化講演会・懇親会負担分
会報発行	0	0	
交流企画	100,000	23,204	文化祭、ボーリング
ホームページ運営	350,000	300,420	H20年度契約料
特別給付奨学金	100,000	100,000	H20年度積み立て
大同窓会運営費	2,050,000	1,444,023	印刷費、通信費、懇親会費、和太鼓謝礼、他
新会員記念品	80,000	71,599	卒業証書ファイル贈呈
同期会支援金	300,000	20,472	2件
備品費	80,000	75,106	パソコンリース料
予備費	243,611	0	
支出合計	3,963,611	2,260,613	
次年度繰越金	1,800,000	2,385,909	普通預金残高
合　計	5,763,611	4,646,522	

【2009年度同窓会予算】

《収入の部》

項　目	2009年度予算額	備　考
前年度繰越金	2,385,909	
入会金収入	955,000	入会金（@5000×191名）＊年度末納入
会費収入	800,000	会費（@1000×800名）
大同窓会会費	0	＊2008年度のみ
利息収入	500	銀行利息
雑収入	0	
合　計	4,141,409	

《支出の部》

項　目	2009年度予算額	備　考
事務費	120,000	＊業務費
消耗品費	50,000	
印刷費	50,000	
通信費	10,000	
雑費	10,000	残高証明書発行手数料など
会議費	390,000	＊会議運営費（通信費、会議費、交通費）
幹事会	120,000	@60,000×2回
常任幹事会	120,000	@20,000×6回
委員会	150,000	各委員会
事業費	2,545,000	＊各事業運営費
文化講演会	10,000	運営費負担分＋懇親会補助分
会報発行	1,500,000	＊前回は2007年度に発行
交流企画	100,000	ゆりのき祭、幹事間交流ほか
ホームページ運営	350,000	年間契約料、個別メンテナンス費
特別給付奨学金	100,000	積立金
大同窓会運営費	0	＊2008年度単年事業
新会員記念品	95,000	卒業証書ファイル寄贈
同期会支援金	300,000	30件見込み
備品費	80,000	パソコンリース料
予備費	1,006,409	＊普通預金残高
支出合計	4,141,409	
次年度繰越金	0	
合　計	4,141,409	

ホームページのお知らせ

2008年度は、ホームページの更新頻度が低く、あまり有効的に使われていなかった。
2009年度は、同窓会全体の動きと各同期会の活動状況等、同窓生、恩師の方々の活躍などを情報発信出来る様に、こまめな更新に頑張っていきたいと思います。

http://www.dosokai.ne.jp/tachibana/にアクセスお願いします。

予定や実施報告等がありましたら、ホームページや高校まで情報をお寄せ下さい。

同期会報告

1984年度卒業（第25回生）幹事　山崎、堀内、瀧、山崎

開催日　2008年5月5日(月)
会　場　GOKURAKU亭（名古屋八事）
参加者　80名

同窓会を行うと高校時代にタイムスリップしてしまい、昔を懐かしみながら話がはずんだことと思います。
また先生方もお元気なのは、私たちにも喜ばしいかぎりでした。

同期会報告

1978年度卒業（第19回生）幹事　後藤、佐野、田中、坂口

開催日　2008年8月3日(日)
会　場　月よみ（名古屋市東区）
参加者　42名

島崎、辻坂、中瀬、神谷先生を迎え、計42人での4年に1度、誰もが忘れないようにと、オリンピックの年に同期会を行ってきました。お昼の懐石料理とお酒を楽しみながら学生時代に思いを馳せて、誰もが18歳の顔をしていました。

佐藤友彦さん・舞台生活60周年記念公演

1960年度卒業（第1回生）報告　丹羽

去る5月10日、名古屋能楽堂で、第一期卒業生で狂言師の佐藤さん（重要無形文化財総合指定保持者）の舞台生活60周年記念公演が開催され、自身の新作3題が披露され多くの観客を魅了されていました。当日は同期生10数名が応援にかけつけていました。
佐藤さんは、舞台公演の傍ら愛好者への指導や各種狂言講座の講師など勤めて折られ、当日もお客様の質問・疑問にも直接答えたり、装束着付け実演も行なわれていました。

同期会開催等についての助成制度をご利用ください。

1　申請者
本部に登録された各卒業年度の幹事は、会長宛に【同期会等助成申請書】（別紙）を提出する。なお、同期会・クラス会の開催にあっては宛名シール（同窓会名簿による）の発行を希望するときはその旨を申し出る。

2　助成金の交付
会長は、申請の事実を確認し幹事宛に各年度一回に限り、次の金額を交付する。
（1）同期会の開催にあっては、10,000円。
（2）クラス会及びサークルOB・OG会にあっては3,000円。

3　その他
（1）申請は、当該年度に開催する同期会等を対象とする。
（2）同窓会本部は、申請者に対し【同窓会費の納入のお願い】文書を参加予定者分送付する。なお、高校や学校法人が発行するパンフレット等を希望するときは、提供することとする。
（3）助成金の交付を受けた幹事は、所定の報告書を提出する。
（4）参加者に対し同窓会本部が要請する「会員会費のお願い」を周知していただき、ぜひ当該年度分の納入を呼びかけていただくこと。
（後日、氏名・金額を明記して送金・送付）
（5）本部役員に出席の要請があるときはその旨申し出てください。常任幹事で調整します。

● 恩師は今 ●

福岡　猛志　（2000～2008 年度　第 6 代校長）

梅雨明けと立秋が、踵を接してやってくるという不思議なこの夏、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。　私こと、

本年 3 月末をもって、日本福祉大学を退職し、9 年にわたって務めて参りました日本福祉大学付属高等学校校長の任を離れました。未曽有（「みそうゆう」とは読みませんね。）とも言うべき教育と私学の転換期において、皆様のご期待にこたえる学校建設を実現し切れなかったことについて、忸怩たる思いは残りますが、「思いのたけ」は、新校長の平野先生に託しました。高等学校後援会の一員として、ささやかな寄与が出来ればとも思いつつ、現場の重荷からは離れて、思い切った研究生活に戻ります。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、私の専門は、日本古代史です。齢七十一ともなれば、「日暮れて道遠し」の感無きにしも非ずという声も聞こえてきますが、「日残りて昏るるに未だ遠し」（藤沢周平『三屋清兵衛残日録』）という言葉を支えに、ライフワークの結実に向けて、豊かな日々を送りたいと思います。

麻生首相（この文章が皆さんのお目に触れるころには、もはや首相ではないと思いますけれども）が、「高齢者はいまさら勉強したって無駄で、働くしか能はない」とのたまいましたが、とんでもないことですね。高齢者への侮辱であるだけではなく、勤労に対する侮辱でもあります。それに、麻生さんだって、今からでも勉強すれば、少しは漢字が読めるようになるはずです。

いろいろお世話になりました。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。機会があったら、お声をおかけください。楽しい酒席であれば、いっそうのこと歓迎です。「休肝日」を作り、深酒も控えておりますが、「酒なくてなんのおのれがさくらかな」の精神は持ち続けておりますので。

同窓生の活躍

1983 年度（第 24 回生）
日本福祉大学付属高等学校卒業
福井　政浩
株式会社 DMS

私が通った校舎は、八事校舎で、南区から天白川サイクリングコースを 1 時間走り緑豊かなプレハブ校舎で一年間、2 年生から名鉄電車に揺られ揺られてほぼ 2 時間、緑しかない知多奥田の 3 階建ての鉄筋校舎で 2 年間お世話になりました。よく通ったものだと未だに自分に感心します。近年、同窓会を通じて高校に行く機会があるのですが、駅から校舎までの様変わりは、ドラゴンズの選手を輩出する福祉大学と同じように、びっくりさせられますが、どんどん変化し進歩していく高校に負けじと私にも気合が入ります。

私の会社では、ディーエムに関するサービス（略してDMS）として、封筒やタックシールへの宛名出力をはじめ、封入作業、封緘作業といったサービスを提供しています。より安価に、キレイに、正確に、を合言葉に、セッティングから発送まで、トータルにサポートする会社です。主な取引先としては、大学や専門学校、各種協会や印刷会社になります。スピーディーな対応で大手には出来ない心配りと角 2 封筒 60 円台を武器に業界で躍進しています。今後も、学校に負けないように、会社を挙げてお客様との信頼を構築し、一歩づつ前進していきたいと思っています。

詳しくは http://www.dms.jp/を参照下さい。

1993 年度（第 34 回生）
日本福祉大学付属高等学校卒業
堀場　純矢
日本福祉大学社会福祉学部

私は今年の 4 月から母校の日本福祉大学で専任教員（児童家庭福祉論・准教授）として、「児童養護問題の構造と対策」に関する研究・教育に携わっています。高校卒業後、日本福祉大学に進学し、児童養護施設で 5 年間働きました。そこで、家庭で暮らすことのできない子どもたちと生活をともにするなかで、社会の矛盾に直面しました。その後、他の施設で働きながら、大学院(岐阜大・金沢大)に進学し、他大学の教員を経て本年 4 月から母校の日本福祉大学に赴任しました。

また、社会活動として同窓会副会長の小塚さんや施設関係者と名古屋市北区で NPO 法人「こどもサポートネットあいち」を立ち上げ、理事として子育て支援、施設職員の研修、野外活動、児童養護施設出身者の支援にも携わっています。会の活動は下記のページに載っていますので、ぜひご覧いただけたらと思います。美浜に来た際は、大学の研究室（研究本館 4 階 414）にもお立ち寄り下さい。

・こどもサポートネットあいち http://kodomosp.com/

高校の近況報告

校長挨拶

学校長　平野　征人

今年も猛暑の季節がやってまいりましたが、会員の皆様には一層ご健勝のことと思います。
日ごろは本校に様々なご援助とお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

この紙面をお借りして、まずもって会員の皆様にご挨拶申しあげます。永く校長を勤められた福岡猛志先生が勇退され、後任として私が本年4月に着任いたしました。県立高校を退職後、福祉大学教職課程センターに勤務しておりました。よろしくお願い申し上げます。なお福岡猛志先生は日本福祉大名誉教授となられ、大学の知多総合研究所所長として研究と地域活動にご活躍であり、本校に引き続きお力添えをいただけることも申し添えておきます。

さて、4月赴任以来、屈託のない笑顔をみせる純朴な感じの生徒と、夜遅くまで教育活動に勤しむ教員の中にあって日々を過ごしています。この間に知多半島のすべての中学校をお訪ねしましたが、そこでは大学と付属高校の50有余年の歴史の重さを学びました。この学園の研究・文化活動が世に発信され、有為の人材を送り出し社会貢献を果たしてきたことです。これは同窓会員の方々の社会でのご活躍と切り離しては考えられません。先人の歩みに感謝しつつ、学園の知恵とエネルギーを集めて21世紀にふさわしい魅力的な高校づくりを進めなくてはならないと、改めて粛然とした気持になっております。青年期一貫教育としてすでに理念は示されていますので、その教育体系の充実に努めることが、私ども付属高校教員に課せられた現下の役割だと思っております。

少子化の進行の中、昨秋以来の世界的大不況の影響もあって、私学経営は入学生の確保で困難に直面していますが、本校も例外ではありません。対応の一つとして来年度入試より、推薦制度や特待生制度の改革・拡充を図りました（同封のチラシ参照）。その中には同窓会にも活用いただけるものが含まれています。目を通していただき、制度を活用して付属高校の発展にお力添えをいただきますよう、お願いを申し上げ、会員の皆様の一層のご活躍をお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。

2009（平成21）年7月17日　1学期終業式の日に

在職教職員紹介

【2009年度教員名簿】

青木律子	英語
浅生京子	英語
石﨑摂	国語
伊藤克之	国語
今田和弘	地歴・公民
岩橋由美子	養護
岩本憲之	英語
岡部道宣	数学
尾之内こすも	国語
加賀敏美	数学
神谷誠一	理科
神谷貴史	保健・体育
河合理恵子	理科
君塚麿	数学
近藤美穂子	地歴・公民
榊原智穂	英語
重藤信夫	英語
篠原有加	英語
清木敦史	理科

祖父江奈都	保健・体育
竹内智司	保健・体育
田中理恵	英語
辻坂英雄	地歴・公民
土屋貴則	数学
東海英子	国語
長谷川友紀	英語
畑中千佳	国語
原田結衣	地歴・公民
半田裕嗣	数学
日高幸浩	数学
松永太志	地歴・公民
松久直史	地歴・公民
宮東靖浩	理科
宮本純	理科
向井直紀	地歴・公民
森あゆみ	国語
山口喜久枝	国語
山田育世	情報

【2009年度職員名簿】

平松広次	事務長
朝比奈園美	人事・教務
金海和江	事務
山元洋子	事務
相浦香代子	図書（司書）

2007、2008年度をもって5名の先生が退職されました

榊原保子	国語
田中京平	地歴・公民
崔知華	英語
谷合真由美	国語
金丸典生	英語

学校の様子

新しい教育課程がスタートして3年目になりました。2年生から3つのコースとそのミックスホームルームという形であり、実際に取り組んでみると改善すべき課題が多く生まれています。しかし、生徒諸君の頑張りもありいくつかの成果も生まれています。

国際英語コースでは全員が英検準2級に合格しました。さらに、2008年度には同コースの3年生2名、2009年度には1名が2級に合格しました。また研究成果を英語でプレゼンテーションするWorld Youth Meetingでは、韓国の梨花女子大学付属高校と共同研究を行ない、発表し、2008・2009年とプラチナ賞を受賞しました。

福祉社会コース2年生で取り組む地域研究では、「知多の戦争遺跡講座」に参加した生徒の感想が中日新聞の主張欄に掲載されました。また美浜町のハウスみかん「みはまっこ」の講座の取り組みが中日新聞知多版紙面に掲載され注目されました。

ホームヘルパー2級講座にも継続的に取り組み、2008年度は受講者49名が全員合格、2009年度は48名が土日にほぼ毎週のように講座を受講しています。

クラブ活動では陸上部がやり投げで男女各1名が県大会に出場しました。和太鼓部は18年連続で出場した全国大会で優秀賞（準優勝）を受賞し、8月末の東京公演にも出演しました。

目下の課題は家庭学習習慣の定着です。義務教育段階の学習の確実な定着を図ることも高校のあらたな役割として求められています。具体的には継続的な家庭学習へのとりくみを軸に、授業内容の見直しや工夫、必要に応じた補習の実施といった手だてを講じながら、学力形成・強化の取り組みをはじめています。

2009年度から新しく、平野先生を校長として迎え、学校づくりを一歩も二歩も前進させようと生徒・教師・保護者が協力して取り組んでいます。

2008年度　進路状況

今年度の進路状況は、卒業者数159名中四年制大学94名（日本福祉大学71名・他大学23名）、短大12名、専門学校26名、就職22名、その他5名という結果でした。また前年度卒業生も大変頑張り、上智・明治・立命館・早稲田などの大学への合格を果たしました。

日本福祉大学へは上記の通り、学年の約半数が入学し福祉について学ぶことを志して大学に入学しました。

◆進路先

〔四年制大学〕

愛知学院大学・中京大学・名古屋芸術大学・名古屋造形大学・中部大学・名古屋女子大学・四日市大学・星城大学・名古屋外語大学・城西国際大学・東海学園大学・東海学院大学

〔短期大学〕

愛知学泉・愛知江南・愛知文教・一宮女子・名古屋女子・光陵女子・名古屋経済などの短期大学または短期大学部

〔専門学校〕

日本福祉大学中央福祉専門学校・知多市立看護専門学校・半田常滑看護専門学校・まつかげ専門学校・ほか理容美容・医療秘書・トリミング・観光などの専門学校

〔就職〕

えびせんべいの里・陶栄株式会社・コデラダイナックス・知多カントリー倶楽部・中部国際空港旅客サービス株式会社・久野金属工業株式会社・東海福寿園・医療法人宏友会ゆうゆうの里・椎の木福祉会・池田歯科医院・アップル歯科・医療法人清水会・公務員（東海市）・名阪近鉄バス株式会社・日本医療事務センター・平安閣

来年度入試より同窓会推薦による推薦受験料免除制度が新設されます。

2009年度の新入生は171名と2年連続して200名を割るという大変厳しい状況になりました。特に名古屋地域・尾張地域からの入学生が依然と少なくなっており、更に付属高校の教育を広げ伝える努力を重ねていく必要があります。「2人に1人が付属推薦で日本福祉大学へ」進学できる高校であることをはじめとして「青年期一貫教育」を更に推進しておりますが、大学も含めて福祉への逆風の影響を受けていることも否定できません。しかしながら、多様な進路を保障するコース制をスタートさせ、更に現在中期計画を策定し、新しい付属高校作りに向けて教育改革を進め、実績が生まれつつあります。無料のスクールバス路線も拡充し、また、同窓会推薦による推薦受験料免除制度も新設しました。同窓生のみなさん、是非ご近所の中学生や保護者の方にお声をかけて頂き、学校見学会に参加をしていただけるようお勧め頂ければ幸いです。

今春の地域別入学者数

	推薦入学者	一般入学者	内訳		合計
			男子	女子	
知多	84	34	36	112	118
名古屋	22	4	9	17	26
尾張	13	6	5	14	19
三河	6	1	3	4	7
県外	0	1	0	1	1
合計	125	46	67	104	171

役員（常任幹事）紹介

会　長	丹羽　典彦	1960
副会長	小塚　光夫	1968
	福井　政浩	1983
会　計	西村　容子	1978
	朝比奈園美	事務職員

常任幹事	福岡　正之	1971
	富岡　隆治	1983
	吉村　和幸	1984
	古川　裕資	1984
	新美　滋啓	1987
	堀場　純矢	1993
	尾之内こすも	2000

常任幹事	深谷　愛美	2002
	北浦　稔	2005
	塚田　康人	2005
監　事	水野　孝安	1964
	小林　純穂	1987
顧　問	神谷　誠一	教頭
	平松　広次	事務長

※数字は卒業年度

幹事（世話人）紹介

＊ 役員　（ ）世話人

回生	卒業年数（和暦）	卒業年数（西暦）				
1	昭和35	1960	（佐藤　友彦）	＊丹羽　典彦		
2	36	1961	桜井　敏寿			
3	37	1962	（池田　修三）			
4	38	1963	（山東　克彦）			
5	39	1964	吉田　孝仁	水野　義広	＊水野　孝安	
6	40	1965	武田　晃代	島田ひろ子		
7	41	1966				
8	42	1967				
9	43	1968	大久利一男	＊小塚　光夫		
10	44	1969				
11	45	1970				
12	46	1971	河村　昇	＊福岡　正之		
13	47	1972				
14	48	1973				
15	49	1974	水野　英子	古澤美代子		
16	50	1975	山口　善幸			
17	51	1976	平瀬　哲則			
18	52	1977	中村　勝彦	鬼頭　和則	青山　智弘	高木　真澄
19	53	1978	＊西村　容子	桂　佳男		
20	54	1979	高垣　充			
21	55	1980	筧　重和	菊地　淳子		
22	56	1981	岡本　吉治			
23	57	1982	川瀬　克幸	（渡辺　美雪）		
24	58	1983	＊福井　政浩	榊原　京子	樋口　吉己	＊富岡　隆治
25	59	1984	＊古川　裕資	大井智穂子	＊吉村　和幸	
26	60	1985	福地　充洋			
27	61	1986	松田　洋幸			
28	62	1987	＊小林　純穂	＊新美　滋啓		

回生	卒業年数（和暦）	卒業年数（西暦）				
29	63	1988	渡邊真理子			
30	平成元	1989	仲野　智	久田　里子		
31	2	1990	瀬尾　隆之	中野　ゆか		
32	3	1991	木俣　聖佳			
33	4	1992	冨田　達郎	竹川　寅之		
34	5	1993	岩田佳奈子	西　将志	藤原　聡子	＊堀場　純矢
35	6	1994	白井　雅樹	（榎戸　幸子）		
36	7	1995	佐藤かおり	鶴長　泰輔		
37	8	1996	布目　達彦			
38	9	1997	尾之内　童	白石　優理	長谷川純子	宮川　鮎美
			寺澤　由紀			
39	10	1998	河内　美和			
40	11	1999	吉口　史晃			
41	12	2000	鵜飼　健史	御手洗　旭	＊尾之内こすも	
42	13	2001	江ノ上敦士	武田　恵子	廣瀬　美子	
43	14	2002	大久利勇輝	山﨑由香里	佐々木諒真	榎本　千香
			長坂　創太	久野　達也	堀田　瑞樹	＊深谷　愛美
44	15	2003	有馬　將太	今井　佐栄	神野　由貴	田島由佳子
			山下さなえ	野々垣聡子	鈴木　警史	小野　七絵
			内田　愛	小川　友子	宮澤　枝里	根崎　芳行
			小牧　直哉	相羽　優香	小山　奈未	深谷　典子
45	16	2004	清水　大介	村上　辰之	山下　雄規	中平　猛
46	17	2005	＊北浦　稔	＊塚田　康人	水谷佳那子	菊池　宏晃
			渡辺　拓也	舟橋　佑希		
47	18	2006	永田　悦子	生田　卓也	竹内　甫	大河内　恵
			小島　祐助	浜野　由莉		
48	19	2007	鶴見　匠	眞鍋智奈実		
49	20	2008	沖田　昌紀	椎葉　梢		

☆★編集後記★☆

皆さん、それぞれの道を躍進されていることでしょう。

でも中には、思い通りの道に進めなかった人、自分の力を存分に発揮できていない人、子育てに疲れてしまった人など、悩みを抱えている人もいるかもしれません。そんな時、あの輝かしく、楽しかった高校時代を思い出し、明日への活力にしていただけるよう、また頑張って会報をお届けしたいと思います。編集にご協力下さいました方々に感謝いたします。ありがとうございました。

広報委員会委員長　富岡隆治

日本福祉大学付属高等学校
同窓会

〒470－3233　愛知県知多郡美浜町奥田字中之谷 2－1
TEL（0569）87－2311　FAX（0569）87－2312
http://www.dosokai.ne.jp/tachibana/